

八王子市議会レポート

No.61 2013年11月15日

## つくる、つくろう通信



陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属市民派 北野台在住

編集／発行：市民自治の会（陣内やすこ）

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL http://jinnai.ne.jp/

## 決算否認定としました

(第3回定例議会 9月1日～10月15日)

**理由：**年少扶養控除の廃止、国民健康保険税、介護保険料値上げなどで、市民は負担増に苦しんでいる。こういった市民生活の実態に寄与する事業展開となっていません。しかも、身の丈以上の借金依存体質から抜け出れず、市長の公約である攻めのまちづくりは、ハード整備に偏っています。

**たとえば・・・**地域包括支援センターの増設はあったとはいえ、介護・医療・福祉のサービスを一体的に提供する地域包括ケアシステムの仕組みが整っていない。

**たとえば・・・**マルベリーブリッジの延伸工事は、合理的な計画性を欠き、補助金消化のための工事といえる。八王子バイオマスエコセンター認可に対して、十分な調査ができていなかった。学校の屋根貸し事業は、まったく唐突なもので、事業の進め方に説得性がない。

**たとえば・・・**中学校費は、国が示している基準需要額の8割でしかなく、多摩26市中、最低のもの。また、26市の一人当たりの教育費の平均は、41575円だが、八王子の場合は、37439円。これで、八王子の教育、大丈夫？

**石森市長にとって、本格的決算。市民にとって、最も求められている医療や介護、教育といったソフト面での展開が不十分であり、課題を残した。**

## 主な議案①：中核市の指定の申出(全会一致可決)

2015年4月をめどに中核市移行への準備を進めることになりました。東京都初の中核市ということで、他の中核市の状況とはいささか事情が違います。というのも、いまままで、東京都の広域行政の中で、かなり先進的に取り組まれてきたことが、今度は市独自の力量で実施することとなるからです。いまより以上の職員の政策立案能力、公平中立で透明性のある事業運営が求められるとともに、市民のニーズを速やかにすくい上げ、事業実施へとつなげる力量が必要です。予算がない、という言い訳をせずに、どうしたらいいのかを、真剣に考えなければなりません。これが地方自治の本務です。(やすこの本音・・・中核市になってよかった、と市民の方々が実感できるためには、市民生活や介護・福祉・医療・教育の面で、市民ニーズに根ざした具体的な政策を進めることだ。高いハードルだけど、行政の踏ん張りどころ)

## 主な議案②：議会基本条例(全会一致可決)

3年半あまりの議論を経て、議会基本条例が出来上がりました。議員は一部の団体や地域の利害得失ではなく、議会としての意思決定過程で市民の方々のご意見なりをどう反映できるのか、ということ、市民の方々とともに、つくりあげていくのだ、という決意でもある。市民との意見交換会の席上でも、現実に市長派議員、議会主流派が存在しているが、しっかりと市長・行政の監視チェックができるのか、とのご意見に対し、地方議会は二元代表性であり、与党・野党の区別は基本的にはない、との説明があり、会派間や多種多様な意見のぶつかり合いを調整するという機能を、議会は大きな役割として任されているのです。請願・陳情の扱いなど意見が一致せず、これからの宿題です。(やすこの本音・・・議論できる議会へ変身？争点を明確にします。市民のしっかりとした監視が必要です)

岩手県大槌町の買い物代行視察 そして、沢内村深沢まさおの足跡をたどる

もりおか女性センターの取り組みのひとつで、国の緊急雇用対策を活用して、女性 19 名を雇用、大槌町をはじめ、被災沿岸部 5 カ所で買い物代行業を進めています。働く女性たちの元気を目の当たりにし、仮設住宅に住み、彼女たちが来てくれるのを楽しみにしている高齢者の方々とお会いして、この事業の未来に期待が持てることを確信しました。都会での一人暮らし高齢者支援にも応用できます。

根浜海岸



この海岸に津波が押し寄せ、宝来館に到達。女将さんも一時は飲み込まれる。赤土盛り土の松林が、津波の勢いを分散させてくれた。

買い物代行 3 人娘



3人で一台の車を使って、レッツゴー。



買い物しているところ



お金の計算



車の中



利用者さんと

ドキュメンタリー映画「いのちの作法」「あしかび」そして、劇映画「いのちの山河—日本の青空 II—」の舞台となった、いのちの行政を実施してきている旧沢内村に行ってきました。豪雪地帯でもある過酷な自然の中で、「赤ちゃんは村の宝」といって乳幼児死亡ゼロを実現させ、国に先駆けて老人医療費無料化を実現させた村です。村長をリーダーに住民で作り上げた村づくりは、住宅改善、生活改善でもありました。



沢内村地域包括医療計画（1962年）

（計画の目標）

1. すこやかに生まれる
2. すこやかに育つ
3. すこやかに老いる

これらの目標を実現するために

- だれでも（どんな貧乏人でも）
- どこでも（どんな僻地でも）
- いつでも（24時間365日生涯にわたり）

学術の進歩に即応する最新・最高の包括医療サービスと文化的な健康生活の保障を享受する必要がある。

きたがわてつ平和コンサート

10月20日小雨にもかかわらず、多くの方に北野市民センター会場においでいただきました。ありがとうございました。澄んだ歌声とアットホームなひとときに、心が元気になりました。



編集後記 ◆通信の発送、ずいぶんと遅くなりました。課題が多すぎの八王子市。バイオマスエコセンター問題、川町のサッカー場建設計画などなど。そして、この間視覚障害者団体との懇談会で、なんと盲導犬が公共施設への入館を断られたことが明らかに。◆中核市移行に向けて、これから条例制定が数多くできます。後退させない。プラスの施策実施を実現させます。◆視察報告はホームページにも掲載します。